



みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第33号 E

発行日
平成20年 9月1日

◇ 目 次 ◇

- P2 海岸自然環境調査
自然公園クリーンディ
P3 包ヶ浦海岸清掃
P4、5 入浜再生への取り組み

- P6 鷹ノ巣砲台跡の清掃
P7 環境の日「ひろしま大会」
編集後記



幻のシロバナトサムラサキ

「みせん」21号の表紙に「シロバナトサムラサキ」の花があり、その秋になるとどの様な果実が付くのか。再会を楽しみに探し求めたが見つからなかった。夏の大型台風で倒れ姿を消したのではないかでしょうか。という新川氏（元会員）のコメントがありました。

しかし根から抜かない限り、芽吹いていると信じて7月上旬探索の前に、この樹木について広大宮島植物実験所で知識を学んだり、インターネットで調べたところ、この樹木はわが国の固有種で、四国や九州に分布し、広

島県では宮島以外では見かけない。またその個体数も僅かである。つまり絶滅危惧種に指定されていることがわかった。

やがて度重なる探索の結果、大砂利コースの谷間に一本のみ生育しているのを発見した。そして側の電柱名板から「鷹ノ巣81号シロバナトサムラサキ」と名付けたが、秋に白い果実がつくようなら世紀の大発見である。

（写真・文） 中道 勉

海岸の自然環境調査

6月22日(日) 大砂利海岸

7月 5日(土) 元宇品海岸

参加者 6/22 小川 五石 小林(み) 末原

中道 弁田 藤本AR

7/5 小方ペア 小川 小林(み)

中道 弁田

いずれも潮の関係で14時集合 18時解散。

- ・疲れましたが有意義な一日でした。
- ・地味な調査ですが楽しかった、もっと多くの方に参加して、海について学んでほしいと思いました。
- ・私たちの会でも利用できる調査でしたね。来年同じ場所を再度見てみたいと思いましたが、正確なカラー写真の見本作りが先決ですね。できることならば調査したデータを見たいと思いました。
- ・海岸から海に近づくにつれて竜宮城に近づいたような気分になりました。



大砂利海岸での調査

- ・前の方法より楽しくて調査ができましたね、潮上から潮下の間を一人で観察できるのは、変化を見ることができ面白かったです
- 上記は、大砂利の参加者の感想です。

元宇品の感想は、

「調査は、宮島の時と違って、岩場に生育している生物を観察することができ、また、潮間帯上部から5mごとに観察することにより住み分けなど各生物の変化がはつきり分かつて面白かったです」

「狭い範囲の観察でしたが、よく見ると微妙

に違う種の貝類や海藻類などに自分で同定できないものが多く、トホホです」

「何回か磯の観察の経験をしましたが、毎回新しい驚き・発見があり、自然を観察するの楽しいですね」

調査結果は、そのうち広島県のHPに掲載されます。 (小川 加代)



日 時 8月3日(日) 9:00~12:00

参加者 足立 池下 池田 井上 小川

五石 小林(み) 末原 田中 富田

中道 中本 野呂田 平山 丸平 村上
柳瀬 矢吹 横路

桑原自然保護官 藤本AR

当日の参加者は、環境省2名、県職員親子2名、宮島を美しくする会7名、パークボランティア19名の計30名でした。

最初に環境省藤本ARから挨拶があり、島内を4班に分かれ清掃作業しました。班別のコースは、次のとおりです。

・第1班 宮島桟橋～御笠の浜～西松原～大



作業開始前の分担説明

元公園～あせび歩道～紅葉歩道～旧宮島支所

・第2班 宮島桟橋～要害山～うぐいす歩道～紅葉谷公園～旧宮島支所

・第3班 包ヶ浦～杉之浦～県道～宮島桟橋

・第4班 包ヶ浦～杉之浦旧道～宮島桟橋

収集したゴミは全部で55kgでした、暑い中ご苦労さんでした。 (末原 義秋)

包ヶ浦海岸清掃

日 時 7月12日（土）9:00～14:00

参加者 足立 池下 井上 小方（嗣）小川

川崎 北野 五石 小林ペア 佐伯

佐渡 佐藤 島 末原 富田 中道

中本 西 平田 平山 前田 弁田

丸平 宮崎 村上 柳瀬 矢吹 六重部

包ヶ浦海水浴場の海開きを前に、快適な海水浴場にするため恒例の海岸清掃をしました。

海岸に打ち寄せた竹、材木、カキ養殖用パイプ、ペットボトル、空缶、金属箱等のゴミ435kgを収集しました。また大勢の力を必要とした暗渠内のボート3隻をロープで引張り、陸揚げしました。

昼食時には、島さんがソーメン流しを準備され、暑さで疲労困憊の参加者も思わずご馳走に癒やされました。 （ 末原 義秋 ）



暗渠内に放置されたボートの引き上げ



作業の後には、島さんの準備したソーメン流しに感激！うまい！



砂浜のゴミ拾い



当日の参加会員

「みせん」次号発行予定
発行日 十二月一日
原稿締切 十月末日

入浜再生への取り組み

日 時 6月7日（土） 9:00~15:00

参加者 井上 岩崎 小方(為)小川 小林
(み) 富田 弁田 松田 村上 六重部
環境省広島 藤本AR

鷹ノ巣砲台入り口で注意連絡事項等を確認した後 砲台清掃参加者と別れ入浜に向かい、10時に池に到着。作業は、①水路の点検をする班、②池の7ヶ所に水位基準点を設ける班、③生物及び水質調査班に分かれて行いました。昼食後は全員集合して各作業・調査の内容を確認しました。

水路

池から流れ出る水は、橋の下を通り、松林のところで滞留し、砂浜へ至る前に砂に吸い込まれ、砂浜の水路は砂で少し埋まっていました。軽く砂を除去したものの、大潮でも海水の流入は難しい状況でした。



殆ど水が流れていない水路

水位基準点

池の7調査地点に、この日の水面がゼロ点となるよう目盛付の杭を打ち込んだもので、各調査地点はもちろん、今後の池の水量の増減が一目でわかるようになりました。

生物調査

トンボ類はヤゴ、成虫合わせて12~13種類が確認され、これで25種類以上のトンボが入浜池で確認されたことになります。



A 地点での基準杭の打ち込み

また、シオカラトンボのヤゴが多くいたので海水の影響はあまり受けていない可能性もありとのことです。

水質調査

今年度は環境省からpH計と塩分濃度計を借用できるようになりました。またCOD簡易検査キットは、これまで個人の寄贈に頼っていましたが、今回からは助成金で購入したものも使えるようになりました。

水生昆虫等の調査とあわせると、今後は、山水の影響を受ける池の山側と、海水の影響を受ける池の海側の違いの有無、1日の池の変化などが明らかにできる可能性もあります。



主な調査地点

2006.3月

項目 地点	A	B	C	C'	D	E	F
水温(°C)	21.5	23	23	16.7	18	25	22
pH	6.1	5.9	6.7	5.6	5.5	5.7	5.6
塩分濃度(%)	0.1	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.15
COD(mg/l)	13	10	15	7	7	20	10

※測定データの説明

COD: 数値が大きい程水中の有機物多(汚れている)

pH: 7が中性、7以下は酸性、7以上はアルカリ性(4~8月の入浜の海水測定結果は7.7~8.4)

塩分: 一般に外洋では3.5%。入浜の海岸波打ち際の塩分は2.5%前後。



作業後、調査内容の確認、検討

◎入浜の調査は、今年3月の幹事会で、会員からの要望により、月1回以上の実施が承認されました。今後は、本紙第29号に掲載の新川さん(退会)の報告を参考にしつつ、皆で協力し、楽しみながら調査が継続することを願っています。興味のある方はぜひ観察部会長まで問い合わせください。

(小川 加代)

10月4日(土)の 入浜池自主観察会

この日「環境省、(社)瀬戸内海環境保全協会及び広島県」の助成による公募観察会も同時に開催されます。

参加者全員が簡易検査キットによるCODとpHの測定を体験でき、会員によるトンボなど水生生物の解説もあります。多数の会員の参加をお待ちしています。

樹皮剥ぎにあった木のその後

一昨年3月、入浜観察会の帰り、鷹ノ巣浦近くの道路沿い海側に真新しい樹皮剥ぎにあったネズとカクレミノを見つめた。特にカクレミノは縦横に歯痕がある。樹皮の残っているキワから淡黄色、白濁した樹液が出ていた。シカがなめ取ったのと同じ成分かもしれないと思い味見。苦、辛、酸味、刺激はなかったが唾をはいてもなかなか消えない味で、まさに樹脂。シカが日頃食べている植物の味は判らないが、何らかの原因で異嗜となつたシカが食べたのではなかろうかとさえ思った。

当日は、他に直径2、3cm程度のマツやネズの幼木にも樹皮を剥いだ後を見つめた。その後、他にもやられた木がないかと通るたびに目を凝らすが、新たに樹皮剥ぎにあった木は見つけていない。(車で移動することが多くなつたためもあると思う。)

ネズとカクレミノは、両方とも、急斜面に生え、厳しい環境に生育しているが、斜面ゆえに幹の片側は樹皮を剥がされなくてすみ、なんとか元気で、



樹皮剥ぎのネズの木

今も道路わきにしっかりと立っている。

(小川 加代)

鷹ノ巣高砲台跡整備

日 時 6月7日（土）9:00~14:00
 参加者 足立 大成 小方（嗣）川崎 小林
 （嗣）末原 田中 中道 中本 平田
 平山 丸平 柳瀬 矢吹 藤本 AR

鷹ノ巣山、ここには日露戦争に備えて造られた砲台の跡がある。百年以上も地中に埋ま



監視所跡へ行く通路の清掃

っていたものを、私たち宮島地区パークボランティアの会が掘り起こし整備してきた。

今では定期的に一般公募をして、自然観察



鷹ノ巣砲台跡清掃参加者

会を開くほどになった。包ヶ浦から、ここまで散策し、この山の歴史についても解説をしているが、再び、地中に埋もれないように毎年清掃活動を行っている。

今年は例年通り通路の清掃活動を終えて、



集合便所跡の掘り起こし

集合便所跡の掘り起しをした。ここも木が生え、木の根がはびこり、すっかり埋まっていた。その向こうには調理場の跡らしきものもあるが、これは、また後日、掘り起こすことにして本日の作業は終了した。

ここ宮島は、観光の島であり、厳島神社や朱の大鳥居で有名であるが、その島に昔の戦争の遺構があった。しかし、今は恒久平和を願い、おろかなことをしないようにと訴える記念物でもある。これからも整備、清掃活動を続け、広く一般の人に平和を訴えて行きたいものだ。

（ 小方 嗣彬 ）

10周年記念行事案の締切延期

P V 設立10周年記念行事案について9月末を提出期限としていますが、まだ提案数が少なく、より多くの人から提案して貰うべく期限を12月末まで延期します。

（提出先 P Vの会幹事）

環境 の日 「ひろしま大会」

6月5日「環境の日」は広く一般市民に環境問題や地球温暖化などへの関心を高める為のものです。

今年の「広島大会は6月8日に県庁前広場で環境の保全やリサイクルなどに取り組んでいるメーカーや諸団体22が参加して催されました。



その中の「環境省中四国地方環境事務所・広島事務所」のブースで我が「宮島パークボランティアの会」の活動を90cm巾のパネル2枚で展示紹介しました。自然観察会や樹木名板の取り付け、清掃活動や宮島トンボ生息域保全などが主なものです。

イベント会場など多くの人々で埋まりましたが、私たちのブースにもPV会員16名を含め多数の人が訪れ、PVの活動や宮島の歴史に関心を寄せていました。

このような機会に広く市民の人達に私たちの活動を知って貰うのもボランティア活動の励みになると思いました。

(横路 晃)

瀬戸内海水環境調査日程

6月22日大砂利海岸、7月5日元宇品海岸で実施した、広島県主催の瀬戸内海水環境調査の秋季日程が決まりました

10月12日(日) 大砂利海岸
10月13日(祝) 元宇品海岸
参加者は小川幹事まで連絡して下さい。

野鳥観察会日程変更

当初9月23日(祝)に予定していた、弥山の野鳥観察会(ハチクマの渡り)は都合により9月19日(金)に変更になりました。

20年度 JPR活動日程

第1回 9月15日(祝)元宇品海岸
こんなまちの近くで海と出会えた!

第2回 9月27~28日江田島市荒代海岸
アサリ!とカブトガニ!とわたしたち

◇ 編集後記 ◇

▼今年の「環境の日」ひろしま大会は会場が県庁前広場になったこともあって家族連れなどたくさんの参加者で賑わった。環境問題への関心の高さなのだろうが、PVの会も今後は、もっとブースに多くの人が寄ってくれるような手立てを考えてみたい。(足立)

環境省ホームページ

宮島地区パークボランティアの会の活動状況、年間活動計画、会報「みせん」の既刊分などが掲載されています。

「宮島地区パークボランティアの会」で検索できます。

瀬戸内海国立公園

宮島地区パークボランティアの会

事務局 環境省 中四国地方
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号

広島合同庁舎3号館1階

TEL(082)223-7450・FAX(082)211-0455

宮島詰所

(〒739-0505)廿日市市宮島町1162-18
(宮島桟橋2F)